

平成22年3月12日

各位

上場会社名 株式会社フルスピード
(コード番号：2159 東証マザーズ)
本社所在地 東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号
代表者 代表取締役 芳賀麻奈穂
問合せ先 執行役員 管理本部長 田中勝真
電話番号 03-5728-4460 (代表)
(URL <http://www.fullspeed.co.jp/>)

平成22年7月期第2四半期累計期間業績予想との差異および
通期業績予想の修正ならびに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成21年9月11日に公表いたしました平成22年7月期第2四半期累計期間業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、平成22年7月期通期業績予想の修正および特別損失の計上についても、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成22年7月期第2四半期累計期間業績予想との差異および平成22年7月期通期業績予想の修正
(1) 平成22年7月期第2四半期累計期間(平成21年8月1日～平成22年1月31日)業績予想数値との差異

【連結】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	6,954	204	182	68	476円52銭
実績値(B)	6,260	247	237	△505	△3,539円64銭
増減額(B-A)	△694	43	55	△573	—
増減率(%)	△10.0	21.1	30.2	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年7月期第2 四半期累計)	6,424	223	218	△152	△1,083円32銭

【個別】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	5,446	190	164	69	487円92銭
実績値(B)	4,771	150	128	△508	—
増減額(B-A)	△677	△40	△36	△577	—
増減率(%)	△12.4	△21.1	△22.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年7月期第2 四半期累計)	—	—	—	—	—

(2) 平成 22 年 7 月期通期 (平成 21 年 8 月 1 日～平成 22 年 7 月 31 日) 業績予想数値の修正

【連結】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	15,912	961	921	411	2,884 円 92 銭
今回修正予想 (B)	15,219	1,003	976	90	636 円 71 銭
増減額 (B - A)	△693	42	55	△321	—
増減率 (%)	△4.4	4.4	6.0	△78.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 7 月期通期)	13,249	642	613	105	743 円 20 銭

【個別】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,579	881	832	404	2,834 円 42 銭
今回修正予想 (B)	11,904	841	796	93	657 円 94 銭
増減額 (B - A)	△675	△40	△36	△311	—
増減率 (%)	△5.4	△4.5	△4.3	△77.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 7 月期通期)	10,971	773	752	185	1,308 円 86 銭

(3) 業績予想の修正理由等

①平成 22 年 7 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値との差異の理由

当社は、事業方針の転換に伴い、平成 21 年 12 月下旬より有料会員制サービス「フルスピードクラブ」の会員獲得に全社をあげて注力してまいりました。そのため、当社の主力である SEO やリスティング広告などの各個別商材の営業活動を一時的に控えたことなどの影響により、個別売上高は 12.4%計画値を下回る結果となりました。また、連結売上高においては一部の子会社の広告販売などの業績が好調に推移したものの、計画値を 10.0%下回る結果となりました。

利益につきましては、主に個別売上高の減少に伴い、見込んでいた売上総利益額が確保できなかったことにより個別の営業利益および経常利益は計画値を下回りましたが、一部事業の好調や販管費抑制などの効果により、連結においては営業利益、経常利益ともに計画値を上回る結果となりました。

しかしながら、平成 22 年 7 月期第 2 四半期会計期間 (平成 21 年 11 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日) において、昨今の厳しい経済環境の影響を受け、本開示資料 2 に記載のとおり、主に保有している投資有価証券を保守的に評価した結果、投資有価証券評価損 513 百万円を特別損失として計上したことにより、四半期純利益に影響を及ぼすこととなりました。

以上の結果、本日公表いたしました実績値と平成 21 年 9 月 11 日に公表いたしました平成 22 年 7 月期第 2 四半期累計期間の業績予想に差異が生じることとなりました。

②平成 22 年 7 月期通期業績予想数値の修正理由

平成 22 年 7 月期通期業績予想につきましては、新たに開始した有料会員制サービス「フルスピードクラブ」が順調に推移していることから下期の業績計画に変更はございませんが、前述のとおり平成 22 年 7 月期第 2 四半期会計期間において計上した特別損失の影響により、平成 21 年 9 月 11 日に公表いたしました通期業績予想値のうち当期純利益のみ下回る見込みとなりました。

以上により、連結、個別ともに通期業績予想数値を修正いたします。

2. 特別損失の計上

(1) 特別損失の内容

当社は、平成22年7月期第2四半期（平成21年11月1日～平成22年1月31日）において、以下のとおり特別損失を計上いたします。主には、当社が保有する投資有価証券の評価損513百万円を計上いたします。

当社では今後の事業展開を見据えた投資を行っていましたが、投資先である一部の未公開企業の株式につき、現況などを勘案した結果、保守的に評価し評価損を計上することといたしました。

(2) 平成22年7月期第2四半期における投資有価証券評価損

	連結	単体
(A) 平成22年7月期第2四半期会計期間（平成21年11月1日から平成22年1月31日まで）の有価証券評価損の総額（＝イーロ）	513百万円	513百万円
(イ) 平成22年7月期第2四半期累計期間（平成21年8月1日から平成22年1月31日まで）の有価証券評価損の総額	581百万円	581百万円
(ロ) 直前四半期（平成22年7月期1四半期）会計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）の有価証券評価損の総額	67百万円	67百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は、7月31日です。

○ 純資産・経常利益・当期純利益に対する割合

	連結	単体
(B) 平成21年7月期末の純資産 (A/B×100)	2,985百万円 17.2%	2,947百万円 17.4%
(C) 平成21年7月期の経常利益 (A/C×100)	613百万円 83.7%	752百万円 68.2%
(D) 平成21年7月期の当期純利益 (A/D×100)	105百万円 488.6%	185百万円 277.3%

以 上

(ご注意)

上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。